

最後になりましたが、貴ロータリークラブの益々のご発展を祈念すると共に、新しい時代の学校週5日制の正しい運用と次世代若者に人間の心のバトンをしっかり伝えることを約束し合い、私の話を閉じさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。



11月6日例会：ロータリー財団月間 卓話 地区R財団委員 小柳陽一郎様（新津RC）
 11月13日例会：地区大会報告会
 11月20日例会：夜例会 卓話 石塚敏子会員、高橋彰雄会員
 11月27日例会：職場例会 （株）コンピュータシステム
 12月4日例会：年次総会
 12月11日例会：卓話
 12月18日例会：卓話
 12月25日例会：クリスマスパーティー



三條北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例会日
2001. 10 . 30
累計 No 726
当年 No 17

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
 ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長/木宮 隆
 幹事/山中 正
 SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30~13:30
 例会場/三條ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
 事務局/三條市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
 ☎35-7160 FAX33-8972 Eメール sanjo-n@themis.ocn.ne.jp

行事：「米山月間」卓話「宇宙からの贈り物 隕鉄を鍛えて」

池田鑿製作所 代表 池田慶郎様

出席：本日の出席 61名中 37名

先々週の出席率 61名中 54名 88.52%（前年同期90.91%）

先週のメークアップ：10月28日 柏崎中央RC認証状伝達式出席 中條耕二さん、木宮 隆さん
 山中 正さん、山上茂夫さん

29日 三條南RCへ 梨木建夫さん

ゲスト：池田鑿製作所 代表 池田慶郎様

ビジター：なし

会長挨拶：木宮 隆



100万円もらわないとビジネスの話はしないとっておられた野沢ガバナーが公式訪問の際の卓話でそれらしき話をされた様な気がする。ある時、ガバナーが新しい奉仕事業を提案されたところ、取り巻きが全員、あまり乗り気でないそぶりを見せたので、自分はその事業をなにがなんでもやろうと決心したそうである。もし仮に全員がイケムードだったら逆に断念していただろうと述懐されていた。要するに成功するためには人と同じ事をやっていたのでは駄目ということである。商売の達人やギャンブラーにはきっと凡人には無い動物的な勘が備わっているのだろう。世の中、理性的な判断よりも本能的な直感がものを言う場面は結構多い。だから、これら双方の能力の切り替え、使い分けが臨機応変にできてこそ、一人前の指導者といえるのではないかな。

流行が広まるプロセスにも同様の心理現象が見て取れる。人は誰でも目立ちたがりやの一面を持っている。群れの中の一人がある時他のものと違った言動をすると、群れ全体に変化が起きる。初

期の段階での批判や反発はやがて憧れや共感となって群れ全体を変質していく。そして、群れの大部分が突然変異であった言動に同化する時、新しい言動は群れ全体のデファクトスタンダードとなる。

こう見てくると、そもそも流行の本質とは一体自分を他と区別する奇抜な言動なのか、それとも全体に容認された普遍的な言動なのか判らなくなってしまう。恐らくその両方の要素が流行のエッセンスなのだろう。皆と同じと言う安心感は時として、退屈なマンネリズムを助長し、人はより新鮮で刺激的なものを求めたがる。だが一方で、取り残される不安や疎外感が恐怖心となって、大衆に同化しようとする。

マーケティングとはこの様に奇々怪々な大衆心理を科学する学問である。科学と呼ぶには少し抵抗があるのは方程式では解けない、人間の深層心理の分野を扱うが故であろう。ビジネスは先の読めないゲームである。数学的には説明のつかない偶然や幸運・悲運もしょっちゅう起こる。まさにビジネスセンスが要求される未開の分野なのではないだろうか。だからこそ夢多き冒険者である起業家の心をつかんで離さない魅力があるのかもしれない。

幹 事 報 告： 山中幹事

- ・直前ガバナー吉田昭平より 「吉田年度ガバナー賞」受賞について
社会奉仕事業「大島彰講演会」がガバナー賞に決定しました
米山奨学寄付1,000万円達成
どちらも11／11地区大会に於いて表彰されます
- ・県立月ヶ岡養護学校より 「学習発表会」チラシ配布のお願い（テーブルの上に配布済み）
日時 平成13年11月3日（土）9：20～11：40
会場 県立月ヶ岡養護学校第1体育館
- ・11月10日、11日の地区大会についてご案内致しました。8月に参加希望を募りましたが登録人数に満たなかった為、希望されなかった方も登録させて頂きました。又、1日目（10日）にご出席いただける方及び、都合のつかない方は例会終了時まで、申し出てください。昨年の地区大会以降入会の方は義務出席となっております

委員会報告：

- ロータリー財団委員会 次週11／6例会は「R財団月間」です。外部卓話で地区財団委員の小柳陽一様（新津RC）の予定です。

ニコニコボックス：	30日現在累計 436,000円
-----------	------------------

- 久保博君 宇宙から来た物体で物を作るロマン溢れる話、面白そうですね。
- 外山晴一君 世界平和を願って。
- 小林繁男君 池田さん、いつも子供達がお世話になっております。本日早退おゆるし下さい。

のです。この点に関しては人間も脱帽して、他の動物たちの生き方に学ばなければならないとつくづく感じました。人間は物の豊かさや便利さを追いつけた過程で大事な忘れ物をしてきたように思われてなりません。それは夫婦愛、親子愛、兄弟愛、隣人愛、人間愛、等々です。

私たちの国日本では、今から約7,000年程前に縄文時代がありました。当時の人々は想像に絶する厳しい自然界の中で協力しお互いに助け合って生き続けて来ました。老人が若者に、若者が子供に、親が子供にと衣食住を基本に生き方を教え伝えてきたのです。家族や近隣の仲間同士で共に助け合う心の教育がしっかり行われていたのです。親を慕い子供を諭す豊かな家庭教育が根付いていたのです。「縄文に帰ろう、／」と言う訳にはいきませんが平成13年（2001年）に巡り会えた大人同士で縄文人の親子の絆の生き方を学び、もう一度人間愛に満ちた社会を取り戻したいものです。

《遅い父親の出番》

お父さん方に質問します。お子さんの担任の先生の名前をしていますか。お子さんの生理は何歳に始まりましたか。子供が自殺したいと考えたことを知っていますか。多分自信を持って答えられないでしょう。「忙しい、忙しい」と言っていますが、本当に子供に話しかける時間がないのですか。日本の家庭は、私を含めて父親不在のおかしな時代に入っています。

（歌）さよならさよなら 椰子の島 お船に揺られて 帰られる ああ父さんよ ご無事でと 今夜も母さんと祈ります・・・

この歌は南の戦地に行った父親を気遣う歌詞です。恐らくまだ父親は帰りたくても家族の待っている我が家に帰ってこられないのです。今の日本のお父さん方も仕事にはまってなかなか家に帰っていません。どうか少しでも早く家庭に帰ってやってください。そして日本の子育てに参加してください。学校週5日制の今こそ、遅い父親の出番なのです。

《ロータリークラブへの期待》

孟子の教えに“忍びざる心”という故事があります。よちよち歩きの子供が井戸のそばに近づき落ちそうになっている。それを見た人は「危ない、／」と叫び、とっさに駆け寄り抱きすくめるでしょう。孟子はこの叫び駆け寄る人間の自然な心を“忍びざる心”といっています。私はまさに皆さんのロータリークラブの基本理念と孟子のこの教えが一致していると考えます。また「世界全体が幸福にならないうちは、個人の幸せはありえない」と宮沢賢治は言っています。これもロータリークラブの目指す理念と同じだと考えます。どうかこれから学校教育や地域・家庭教育に一層のお力添えをお願いします。

ご参会の皆様におかれましては、経済競争社会の荒波の中で多忙な毎日をお過ごしのことと思います。どうか今後とも健康に留意されて「忙しいから健康なんだ。病気なんかしている暇が無い」と胸張って言える心身共に健康な日々を築いてください。